



滋賀短期大学 学 報

2019. 12. 1

No. 86

CONTENTS

【理事長メッセージ／P2】

「滋賀短期大学 創立50周年記念事業募金」のお願い

【学長メッセージ／P3】

同窓会だより

【特集1／P4】

純美禮祭を終えて、SHIGATANミーティング

【特集2／P5】

「高校生 手づくり絵本コンクール2019」を開催、
保健室だより

【学外実習報告／P6～7】

【令和元年度公開講座／P8～9】

【学内情報／P10～12】

平成30年度決算・財務状況報告、短期大学行事等開催状況、
竜王夏まつり、人事異動 ほか

滋賀短期大学は
令和2年4月に
「創立50周年」を
迎えます



滋賀短期大学

〒520-0803 大津市竜が丘24-4 滋賀短期大学 広報・図書委員会

電話(077)524-3605

ホームページアドレス <http://www.sumire.ac.jp/tandai/>



滋賀短期大学 開学50周年に向けて

学校法人純美禮学園理事長 松村 文夫



1970年(昭和45年)に開学した本学は、2020年(令和2年)開学50周年を迎えます。

本学が開学するまでの滋賀県下の高等教育事情は、滋賀県立短期大学(当時)と滋賀大学の2大学しかありませんでした。県内高等学校卒業者のうち進学希望のほとんどの者は京都をはじめとする他府県に進学し、県内でも高等教育機関の設置が望まれていた時でもありました。そうした中、創設者中野富美先生の遺志を受け、1970年に県下では初めての私学の高等教育機関として滋賀女子短期大学(当時)が服飾学科、幼児教育学科の二学科をもって誕生したのであります。

半世紀を経た今日、本県には国公立立を合わせて3短大、10大学の高等教育機関が設置されており、県内外から多くの学生が集い、学問探求の場となっています。

開学初年度は、認可日の関係で入試時期が遅れ、定員を確保することはできませんでしたが、二年目からは定員を超える入学生を迎え順調に発展し、定員増や新たな学科の増設、学科名の変更など改革を重ね、さらに平成20年には学園総合改革の一環として女子学園から共学校となり今日を迎えております。

その間、時代は大きく変貌し少子化の波はすでに到来し、加

えて高学歴化が進み短期大学は大変厳しい環境下に入っており、これからの短期大学の在り方が問われているところであります。現在学長先生を中心に本学の在り様について検討しているところであります。

中でも幼児教育関係の志願者の減少が著しく、その要因にはいろいろ考えられますが、やはり保育現場の処遇等働く環境の問題が多いように見受けられます。幼稚園、保育園等の保育料の無償化が実現した今、保育現場の更なる充実に力を入れていただきたいものです。

本学園では来年度迎えます滋賀短期大学開学50周年の大きな記念事業として、県内守山市において新たに(仮称)滋賀短期大学附属すみれ保育園(120名規模)の開園をめざして現在準備中であります。

この度開園予定の保育園は守山市の要請を受け、従来の保育事業と保育者人材育成機能を併せ持った複合施設として開設するもので、本学の今日までに蓄積された多くの知見を活かし、幼児教育と保育を一連のものとしての教育研究、保育人材育成に努めてまいる所存であります。

皆様方の更なるご支援ご協力をお願いする次第であります。

「滋賀短期大学 創立50周年記念事業募金」のお願い

皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は本学のためにご理解とご支援を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

さて、滋賀短期大学は昭和45年(1970)の滋賀女子短期大学の開学から、平成20年(2008)の滋賀短期大学への改称を経て、令和2年(2020)に創立50周年を迎えることとなりました。その間、学科の増設やコースの改変などを経ながらも、一貫して地域に根ざした短期高等教育機関として、多くの卒業生を送り出してまいりました。また大学の事業として地域連携を進め、地域からのご要望におこたえながら地域社会の発展にいささかなりとも貢献してきたと自負しております。

そこで、50年の歴史を振り返るとともに、これから大学のより一層の発展を図るために、この50周年を好機として、大学と同窓会が連携して、大学の施設設備の充実や、卒業生も含めて新しい大学を中心とした連携組織作りなどをめざしていきたくと考えています。

つきましては、大学の発展を図るための資金として、募金活動をお願いする次第でございます。このような趣旨をご理解の上、ご協力ご支援を賜れば幸甚でございます。



令和元年12月吉日
滋賀短期大学 学長 秋山元秀
滋賀短期大学同窓会会長 高田伸子

- | | |
|-----------|---|
| 1. 募金の目的 | 滋賀短期大学創立50周年を将来に向けての大きな節目としてとらえ、学生が満足な短大生活を送ることができるよう、更なる教育環境の整備・改善、修学支援の充実、課外活動の支援に取組んで参ります。具体的には次の事業を予定しております。
●学生生活を快適に過ごすための学内施設を整備する。 ●経済的支援を必要としている学生に対する「支援制度」の拡充を図る。
●地域貢献に関わる活動補助 ●滋賀短期大学創立50周年記念式典
これらの取組み実現に向け一助となるよう、教職員はもとより、卒業生の皆様、在学生の保護者の皆様、各界でご活躍の方々、企業・法人の皆様から寄付を募ります。 |
| 2. 募金名称 | 「滋賀短期大学創立50周年記念事業募金」 |
| 3. 募金目標金額 | 5千万円 |
| 4. 募集一口金額 | ●個人… 一口5,000円以上 ●法人… 特に金額は定めない。 ※口数にかかわらず任意の金額もありがたくお受けいたします。 |
| 5. 募集期間 | 令和元年12月1日～令和3年3月31日 |
| 6. 申込み方法 | ●口座振り込み(ゆうちょ、滋賀銀行) ●現金書留における郵送 ●現金持参
右記連絡先にお電話ください。専用振込用紙をお送りします。 ☎077-524-3605(総務課) |



新しい滋賀短期大学を目指して —50周年を迎えて—

滋賀短期大学学長 秋山 元秀



先回の学報でこれからの滋賀短期大学のありかたを考えてみたいと申し上げました。それでは現代の高等教育の中で、短期大学はどのような特色をもっているのでしょうか。とくに4年制大学と比べた時、短大の方がいいところはないのでしょうか。

現在の短期大学がもつ特色をいくつかの面からみていくと、まず学校の規模からみて、短期大学はそれほど大きな規模のものはありません。大きな大学はスケールメリットがありますが、短大には小規模であるがゆえに、一人の教員当たりの学生が少なく、学生と教員の距離が近く、いわゆるマスプロ教育ではないきめの細かい教育が受けられるというメリットがあります。また少人数であればこそ、建学の精神(本学では心技一如)を、教育を通じて一人一人の学生に受け継いでもらうことが容易です。社会の変化に応じて機敏に対応することも、小規模であるがゆえに可能になります。

さらに短期大学の場合、大都市域の人口密集地域ではなく、地方の中核都市や中小都市にも多く立地しています。そのため地域と密接に結びついた教育活動、また就職してからキャリアを向上させることも可能になります。さらに本学に設置されている専門学科も、すべて地域社会においてその専門性を発揮し、地域の活性化に貢献することを目指しています。現在、本学では大津市をはじめ、滋賀県下の自治体と協定を結んで

連携活動を行っていますが、この活動はこれからの本学の発展に大きな意義をもっていると思っています。

次にあげたいのが、男女共同参画社会への貢献です。本学は平成20年から共学になり、校名も滋賀女子短期大学から滋賀短期大学に改めたのですが、学園創設者の中野富美先生の時から、女性の自立を図るための実践教育ということが大きな目標でした。私は学制として共学になっても、この精神は活かしていいと思っています。逆にいえば男性の共感と理解がない限り、男女共同参画などは実現しません。本学は男子学生も一緒になって、これを考えていくことを目指していいのではないのでしょうか。

栄養士にしろ、幼稚園教諭、保育士にしろ、医療秘書や観光業務にしろ、女性の力が重要な位置を占める分野です。共学の体制を取っている本学でこそ、女性の個性を活かす教育ができるのではないのでしょうか。教員も優秀な女性研究者が多いことはこの方向をすすめる資源になると思います。

まだまだ滋賀短期大学の将来を語るには言葉足らずですが、50周年を機会に得意の分野でナンバーワン、個性豊かなオンリーワンのブランド大学としての滋賀短をつくりだしていきたいと思います。ご支援をお願いします。



同窓会だより

滋賀短期大学同窓会 会計 松田 美枝

同窓生の皆さまにおかれましては、益々ご活躍のことと存じます。平素は同窓会運営にご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、令和元年度同窓会総会及び懇談会を、9月8日(日)に滋賀短期大学内にて開催いたしました。お忙しい中ご出席いただきました会員の皆さま、教職員の方々、本当にありがとうございました。総会では、高田会長の進行により、すべての議事が無事に承認されましたことをご報告いたします。

総会後は、恒例の製菓実習を行いました。例年ご指導いただいております金丸政義先生のご退職に伴い、今年度は石井 明先生にご指導いただきながら、「オレンジケーキ」と「セサミクッキー」作りに挑戦しました。オレンジのいい香りが漂うなか、短時間でとても立派なオレンジケーキとセサミクッキーが出来上がりました。石井先生をはじめ、お手伝いいただいた服部聖羅先生、北川志信さんには心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

製菓実習を楽しんだ後は、懇談会を行いました。お料理を楽しみ

ながら、近況報告やビンゴゲームを行い、懐かしい先生や友達との話で大いに盛り上がりました。親子二代でのご参加があったり、ご退職された榎 和子前学長や、木谷康子先生にもお越しいただいたこともあり、本当に楽しい時間となりました。

来年もまた、より多くの卒業生の方にご参加いただけることを、役員一同願っております。そして、令和3年度には、滋賀短期大学同窓会設立50周年記念式典の開催を予定しております。会員皆さまのご理解とご協力を、よろしく願いいたします。



【特集1】
Feature
1

純美禮祭を終えて 一鏡花水月一

学生自治会 副会長 岡村 生成



純美禮祭が11/2（土）・3（日）に行われました。今回で50回を迎える節目の回ということで、体育大会が終わってすぐに計画を始めました。面白くするには、楽しくできるには、を実行委員のみんなで考える苦労の日々でした。不安いっぱいでも当日を迎えましたが、学生の皆さんが盛り上げてくださり、結果は最高の純美禮祭となりました。さらに今回はFM滋賀さんのご協力もあり、盛り上がりは例年以上だと感じました。今年のゲストにはeco実験パフォーマーらんま先生、昭和歌謡漫才きつねさん、ジャグリングパフォーマーの木下洗希さん、綾瀬はるかさんのものまねでおなじみの沙羅さんに来ていただきました。どのステージも魅力的であり、観客を巻き込んでのパフォーマンスもあって会場は一体感に包まれました。他にも有志バンドの方によるライブでも盛り上げてくださいました。熱かったのはステージだけでなく模擬店もすごかったです。朝早くから準備をしている団体があってこの模擬店にかけている思いは我々が想像していた以上に遙かに熱いものでした。この純美禮祭は模擬店で支えられているのだと改めて感じる事ができました。他にも体育館ではこどもが遊べるスペースや袴の試着、生活学科、美術部の展示もありました。

地域の方々、広告掲載に快く応じてくださった企業の皆様、模擬店を出店していたいた育成会の皆様、教職員の皆様、そしてこの純美禮祭を最高の祭りにしてくれた学生の皆さん、本当にありがとうございます。そして運営してくれた実行委員のみんな、本当にお疲れさまでした。

これにて、自治会執行部2回生は執行部としての幕を閉じるわけですが、やり遂げたという気持ちと終わりを迎えるさみしい気持ちと、両方あります。いろいろな後悔もあり2年間では本当に足りないと感じましたが、その反省は次期執行部が活かしてくれることでしょう。来年は、滋賀短期大学創立50周年です。50周年事業の一環として行われるとのことで、今回の純美禮祭より盛大になること間違いなしです。ぜひ来年も純美禮祭にお越しください。

SHIGATANミーティング

6月29日土曜日、ゼミ代議員・課外活動代表・有志学生が222教室に集まりました。

昨年度まで実施していたリーダーズトレーニングを、「自分はリーダーとは無縁」という学生の皆さんにも参加しやすいように改名、学生支援委員会でねらいや内容を検討し、「SHIGATANミーティング」として実施しました。

以前は自治会執行部主催で年に2回実施し、純美禮祭の様子を紹介する時間でもありましたが、短大主催となって3年目。今年度は「全学の学生が集まって、学生生活をよりよくするにはどうすればよいかを話し合う場」としました。昨今では企業の就職試験においてグループディスカッションが行われることもあり、その訓練にもなる、との意図もあります。前川先生、若生先生、笹倉先生を中心に、ゼミ単位での事前の話し合い依頼、テーマの設定等を行っていただき、当日は笹倉先生の進行で、スムーズにディスカッションが行われました。学生支援センター教職員も加わり、教室が大変狭く感じられました。内容については自治会からの要望等ともリンクしますが、①オープンキャンパスのあり方 ②食堂・売店について ③滋賀短でしかできないことのPR ④地域との関わりについて ⑤他学科との交流についての5テーマを10グループでディスカッションが行われました。各班の発表内容については、食堂の窓にしばらく掲示して全学に周知しました。討議・発表に取り組み、短大生活を自分たちの手で充実させようとする学生のみなさんの姿が印象的でした。

学生部長 原 知子



【特集2】
Feature
2

「高校生 手づくり絵本コンクール2019」を開催

特任教授 永久 欣也

今年も昨年に引き続き、本学図書館が主体となって「高校生 手づくり絵本コンクール 2019」を開催いたしました。これまでの絵本コンクールでは、主に幼児教育保育学科との関わりの中でコンクールを実施してまいりましたが、今年度からは幼児教育保育学科だけでなく、生活学科・ビジネスコミュニケーション学科にも高校生との繋がりが広がるようにと、テーマの設定や作品の作り方にも幅を広げて実施することといたしました。

今年度の募集では、「一般部門」「生活部門」「デジタル部門」の3部門を設定し、これまでのアナログ的な作品に加え、コンピューターを使った作品作りも可能といたしました。また、生活部門ではテーマを「衣・食・住に関するもの」として応募していただくこととし、作品作りを通して将来の自分自身の仕事にも役立てていただければと願っております。作品の応募は、個人でも、グループでも構わないとしており、作品は厳選な審査により、「最優秀賞」1名、「優秀賞」各部門1名、「佳作」各部門1名の各賞と賞金としての図書カードが授与されます。

受賞者は、本学HP上にて発表予定といたしておりますのでそちらをご覧くださいと思います。



保健室だより

学生支援課(保健室) 安井 綾子



学生相談室利用のすすめ！

今年のお盆に中学の友達と久しぶりに会いました。お互いに今に至るまでの話をして盛り上がりました。この友達と話をしていて、久しぶりに私の学生時代を思い出しました。高校から看護学校・保健学科と進学した私は…看護学校でも保健学科でも学業面で悩んでいた時があり、学校の先生に相談しながら、何度も泣いていました。学校の先生や友達に助けてもらい、何とか看護学校も保健学科も卒業することができました。

今、滋賀短の保健室で働いていると、毎日たくさんの人が保健室にやってきます。けがや病気の人だけでなく、友人関係や家族関係の悩みを話しに来る人、就職活動で「自分が何をしたいかわからない」と話しに来る人、保健室に入ってきた途端に泣き出す人もいます。保健室で私が話を聞くこともあります。滋賀短には学生相談室があり、火曜・水曜・金曜と曜日毎に3名のカウンセラーさんが勤務されているので、学生相談室で相談することを勧めることもあります。学生相談室で相談した人の多くは「相談室に行ってきた。」と感想を話してくれます。専門家に話すことで自分の気持ちが整理されていくようです。

学生時代の悩んでいる私が今ここにいるならば、私は迷わずに学生相談室を予約します。私の通っていた学校には学生相談室がなかったの、学生相談室がある滋賀短っていいな〜!とも思っています。

もし、今あなたが悩みを抱えているなら、一度学生相談室で相談することをお勧めします。学生相談室の予約は保健室で取っているので、あなたが学生相談室の予約に来てくれるのを保健室で待っています。

学生相談室 開室時間
火曜日:10時～16時
水曜日:10時～16時
金曜日:11時～17時

学外実習報告

■ 病院実習を終えて

生活学科 食健康コース (2回生) 居原田 葉摘

5日間の実習を通して、学校で授業を受けているだけではわからないことをたくさん発見することができました。実習先の病院にはNSTという栄養サポートチームがあり、その中の嚥下チームの嚥下評価を見学させていただきました。そこでは嚥下機能の弱い人の液体や食べ物を飲み込む状態を診断し、現在の食事形態について評価していました。食事介助の見学では、病院給食を食べられている様子を見て、何度もむせてしまう人がいたり、食べるのに時間がかかってしまう人がいたり、私たちの食事のようにうまくいかないのだとわかりました。高齢者がどんどん増加していく中で、おいしいだけでなく安全に食べることのできる食事を作る大切さを知ることができました。

現場の調理は十数人という少ない人数で何百食の食事を作っていることに驚きました。常食・軟菜食・減塩食といった食事だけでなく、刻み食・半量食・とろみ食・アレルギー対応食などたくさんの種類を短時間で調理・配膳されていて、現場の速さと効率の良さに圧倒されました。提供する食事はもちろん手作りですが、既製品を使用して作業効率を考え、時間以内に提供するための工夫を知ることができました。短い実習期間でしたが、たくさんの経験をさせていただき、充実した時間を過ごすことができました。将来は多くの人においしいと思ってもらえる食事を考えることができる栄養士になりたいです。



■ 教育実習を終えて

生活学科 食健康コース (2回生) 川島 のあ

私は9月9日から13日の5日間、小学校で栄養教諭の教育実習を行いました。教育実習で努力したことは、最終日に行った研究授業とその授業の準備です。「食べ物の力を知ろう!」というめあてをたて、担当していた1年生に向けて授業を行いました。授業の内容を理解してもらるように事前に栄養教諭の先生にアドバイスをもらいながら授業の流れや伝えたいことを書き出したり、分かりやすかつ正確に言い方を変えて説明したり、食品カードなどの媒体をたくさん用意しました。1年生は栄養についての学習をほとんどしたことがない状態だったので、子どもたちが毎日食べる給食や身近な食材をたくさん利用しながら食べ物の栄養について伝えることを工夫しました。当日の給食は「お月見献立」でわかめご飯・豚肉の金山寺味噌焼き・おひたし・月見汁・お月見団子でした。行事献立だったので品数が多く、また金山寺味噌焼きの付け合わせに小松菜が入っていたことにより、通常より多くの食材や子どもたちがあまり知らないような食材を取り扱うことができました。授業のはじめは緊張でいっぱいでしたが、1年生のみんなが問いかけに対してたくさん答えてくれて楽しく授業を進めることができました。また食べ物を3つの働きに分けることや、グループワークは初めての試みという事で不安でしたが、スムーズに進めることができ、小学校の先生にも褒めていただけたことが嬉しかったです。実習は大変でしたが、非常にやりがいを感じた一週間でした。



■ 医療秘書実習に参加して～大津市民病院 (8月22～23日) ～

ビジネスコミュニケーション学科 (2回生) 久郷 雪乃

医療秘書実習では、施設見学、医師事務作業補助業務についての説明、電子カルテの使い方、紹介状・診断書の作成等、様々な業務について教えていただきました。また、放射線科では、X線撮影やCT・MRI撮影、血管造影、カテーテルなどについての説明を受け、授業で習った用語と実際が結びつきました。この実習を通して、医師事務作業補助者は医師の診断がスムーズにできるように、常に次のことを確認して作業していること、また、学生の時にこの管理料、指導料は算定できるかどうかをしっかりと理解しておくことの大切さを学びました。医療従事者は情報交換・コミュニケーションを常に意識して臨機応変に業務を円滑に行うことが大切です。資格をとって終わるのではなく、自分で調べて知識を増やしていくことが必要だということが分かり、今後の勉強に生かしていきたいと思っています。



■ 医療秘書実習に参加して～大津赤十字病院 (9月11～12日) ～

ビジネスコミュニケーション学科 (2回生) 芝原 悠梨香

2日間の医療秘書実習で、施設見学では透析センターやICU、病棟、予約センターなど、感染防止の工夫や各施設の説明を受けました。また、労災保険制度をはじめ各種公費負担医療の取扱いや、電子カルテ操作、医事システムの説明を受け、現場で必要な知識を確認することができました。今回の実習を通して感じたことは、一人一人が責任をもって仕事をされていることです。窓口業務では、多くの患者さま一人ひとりの仰っていることに的確に丁寧に対応をされているのが印象的でした。また、患者さんとのコミュニケーションが大切で、臨機応変に動くことが求められていると感じ、チーム医療の推進のために、スムーズに仕事を進めるように自分から進んで行動することが大切だと実感しました。透析センターやICUなどを実際に見ることで、講義で学んだことが具体化され、医療事務にこれまで以上に関心をもつことができました。この体験を忘れずに日本医師会認定医療秘書合格を目指し、これからも短大での勉強に取り組んでいきたいと思っています。



■ 教育実習を終えて

幼児教育保育学科 (2回生) 白土 育恵

今回の教育実習では、実習の集大成として自分なりに意図を持って、子どもとの関わり方を工夫したり、自ら積極的に行動したりすることができました。実習中、全日実習や研究保育等子どもたちの前に立つ機会をたくさんいただきました。その中で、目の前の子どもの発言や姿を受け、対話的に展開することで子ども主体の保育に繋がっていくことを学びました。また、子ども主体の保育のためには、一つ一つの環境構成や援助等に教師の意図や願いが込められており、教師自身が見通しをもって活動を展開していくことが大切だということも学びました。

実習を通して、幼稚園生活において子どもたちがどのような姿に成長してほしいかということを明確にし、見通しを持って保育していくことが大切であること、また、一つ一つの活動の中にはたくさんの経験や学びが詰まっており、日々の積み重ねが子どもたちの生きる力の基礎になっていくのだと実感しました。

今後は、子どもの気持ちに寄り添い、共に成長を喜び合える保育者を目指したいです。



■ 保育実習を終えて

幼児教育保育学科 (2回生) 金谷 衿奈

私は、自分自身の地元である、福井県の「美浜町立みずうみ保育園」で実習をさせていただきました。

今回で最後となる保育実習ではありましたが、これまで短大で学んできたことを、この実習で本当にしっかりといかしていけるのだろうかなど、やはり、実習が始まるまでは不安や緊張でいっぱいでした。でも、先生方が丁寧に指導してくださり、とても温かい環境の中で実習をすることができました。

今回の保育実習で私が心がけていたことは、「こどもの目線に立つ」ということでした。

例えば、色水遊びの時なら、色と色を組み合わせることによる色の変化、水の量を工夫し、濃さを変えてみるなど、子どもが、「楽しい」、「不思議だ」と思っていることは何かを考え、共感するようにしていました。

また、現場に出た時の模擬体験としての責任実習をさせていただきましたが、改めて、子どもの前に立つということの難しさを感じました。指導案の書き方はもちろん、自分のよかったところ、反省すべきところを見直すことができてよかったと思っています。

この10日間の実習の中で、短大の授業だけでは学ぶことのできない多くを経験させていただくことができました。この経験を大切にし、これからも、より良い保育者を目指して頑張っていこうと思っています。



令和元年度公開講座

淡海文化講座

広報・図書委員 講師 山岡 ひとみ

今年度も2回の講座を行う予定でしたが、10月12日（土）の「私たちは太陽という星に生かされている～お日さまとともに元気にくらす～」のテーマでビジネスコミュニケーション学科の堀池喜八郎特任教授による講演を予定していましたが、台風の影響により中止となってしまいました。楽しみにして下さっていた皆様には、ご迷惑をおかけして申し訳ありませんでした。10月26日（土）は、昨年に引き続き、クラシック音楽の楽しみ（パート2）～木管五重奏の響き～をテーマに、日本センチュリー交響楽団ファゴット奏者である宮本謙二氏をはじめ、北村沙希氏（フルート）、宮本克江氏（オーボエ）、延原弘明氏（クラリネット）、岡田喜美子氏（ホルン）の5名をお招きしました。それぞれの楽器が持つ特徴的な音が生かされ、バランスのとれた演奏は心地よい音色でした。曲あてクイズでは、客席からの歌声と笑い声で大いに盛り上がり楽しんでいただきました。今後も、多くの地域の皆様にご参加いただけるような講座を開催していきたいと思います。



生涯学習講座

広報・図書委員 准教授 久米 央也

今年度のすみれキャリア講座は「銅版画教室（5講座）」「楽しく作るお菓子（2講座）」「滋賀の食材を使ってアイデア料理」「スウェーデンハンドセラピー」の9講座を開講しました。石井教授による「楽しく作るお菓子」1回目の講座では、ナッツを使ったお菓子2種類を作りました。2回目の講座では紅茶（アールグレイ）を使ったお菓子2種類を作り、大変好評でした。今年6回目となった、本学の前川名誉教授による「銅版画教室」では、エッチングの技法を学び、素晴らしい作品を受講者の皆さんの手で完成することができました。今年で3回目になります朝野先生による「スウェーデンハンドセラピー」では“背中に触れるヒーリング”をテーマに服の上からおこなう背中への施術を体験しました。背中をやさしくなでるように触れることで、今話題の愛情ホルモン「オキシトシン」の分泌を促します。リピーターも多く、熱心に受講されていました。また、本年度初めて「滋賀の食材を使ってアイデア料理～手軽・おいしい・健康的な食事～」を開講し、山岡講師により地産食材で簡単に作れて食べやすい料理を受講者で作りました。地元食材料理に大変興味を持って参加していただきました。本学のすみれキャリア講座は、これからも地域の皆様の生涯学習の場として活用いただけますように、皆様のご意見を参考にしながら楽しい企画を考えていきたいと思っています。



「こども講座」を開催しました！

広報・図書委員 教授 深尾 秀一

今年も夏休み中に楽しく学び、体験してもらえよう、8月に『こども講座』を開催しました。今年度は「こどもフラワーアレンジ教室～サマーフラワーアレンジ～」、小学校1・2年生対象の「こども書道教室～硬筆の練習～」、小学校3～6年生対象の（毛筆）「こども書道教室～夏休みの課題を書こう～」、「こども陶芸教室～カップと小皿に絵付、オリジナル食器を作ろう～」、「こどもラボラトリー～食べ物不思議～」と「こどもドライポイント教室」の6講座を開催いたしました。

今年度初めての開催の「こどもドライポイント教室」には小学生16名が参加してくれました。一人一人、初日から熱心に版画の下絵を考え、制作に取り組んでいました。そして下絵をもとに、プラスチックの板にニードルでひっかいて絵をかき、それに、版画絵の具をつめてプレス機で版画に仕上げました。本学名誉教授の前川秀治先生にはやさしく丁寧に教えていただき、試し刷りの後に修正を加え、素晴らしい作品を完成させました。2日間という短い時間でしたが、小学生の皆さんは、版画制作の魅力に取りつかれたのではないのでしょうか。

毎年、これらの『こども講座』は人気で、募集後すぐに定員に達し多くの小学生に参加していただいています。今後も子どもたちが普段できないようなことを、滋賀短期大学で体験してもらえる場ができればと思います。



滋賀短期大学・滋賀医科大学共催公開講座

広報・図書委員 特任教授 堀池 喜八郎

令和元年度の滋賀医科大学との共催公開講座を8月10日（土）に本学で開催しました。テーマは「筋肉と健康」です。永久欣也特任教授の司会のもと、滋賀医科大学・小笠原副学長の挨拶に始まり、3つの講演が行われ、秋山元秀学長の謝辞で午前の講演の部を終えました。引きつぎ希望者による調理実習を実施しました。講演は、馬場重樹講師（滋賀医大・栄養治療部）による「筋肉と健康とのかかわり」、岩井宏治理学療法士（医大病院・リハビリ部）による「サルコペニア対策を運動から考える」、丈達知子管理栄養士（医大病院・栄養治療部）による「サルコペニア対策を食事から考える」です。

フレイル（虚弱）の概念・予防・回復法、サルコペニアの定義や診断基準、筋力をつける4つ運動（片脚立ち・スクワット・踵上げ・フロントランジ）の紹介、低栄養のチェック、タンパク質摂取の具体例などが話されました。これらは「運動して、十分に食事（タンパク質）をとる」、「運動は強力な薬である」とまとめられます。病気を予防し健康に過ごすためには、結局様々な食品をバランスよく食べ、ふだんから運動することが大切です。

調理実習のテーマは「筋肉の減少を予防～豊富なたんぱく質でバランスのとれた食事」です。山岡ひとみ講師（生活学科）や安原祥子管理栄養士（医大病院）の指導のもと生活学科の教員と学生が一丸となって、リハーサルを含め事前の準備・当日の補助をされ、参加者の皆さんは楽しく真剣に実習をされました。

健康寿命への関心は非常に高く、講演の部では135名もの参加があり大盛況でした。



学校法人純美禮学園の平成30年度決算・財務状況報告について

学校法人純美禮学園の平成30年度決算は、公認会計士の監査、学園監事の監査、理事会・評議員会の承認を経て、確定いたしましたので報告いたします。

事業活動収支計算書は、当該会計年度の各事業活動における収支の内容及び均衡の状態を明らかにし、貸借対照表は、本学園の年度末の資産状況を明らかにするものであります。

平成30年度決算報告について

事業活動収支計算書

平成30年4月1日 から 平成31年3月31日まで (単位千円)

教育活動収支	事業活動収入の部	科 目	決 算
		学生生徒等納付金	1,115,595
		手数料	35,417
		寄附金	22,620
		経常費等補助金	417,449
		付随事業収入	6,086
		雑収入	89,327
		教育活動収入計	1,686,494
	事業活動支出の部	科 目	決 算
		人件費	1,119,662
		内：退職給与引当	54,824
		教育研究経費	433,230
		内：減価償却	133,628
		管理経費	138,069
		内：減価償却	5,359
		徴収不能額等	1,405
	教育活動支出計	1,692,366	
教育活動収支差額		△ 5,872	
教育活動外収支	事業活動収入の部	科 目	決 算
		受取利息・配当金	38,514
		その他の教育活動外収入	0
		教育活動外収入計	38,514
	事業活動支出の部	科 目	決 算
		借入金等利息	2,378
		その他の教育活動外支出	0
		教育活動外支出計	2,378
		教育活動外収支差額	36,136
経常収支差額		30,264	
特別収支	収入の部	科 目	決 算
		資産売却差額	0
		その他の特別収入	4,792
		特別収入計	4,792
	支出の部	科 目	決 算
		資産処分差額	6,523
		その他の特別支出	16,300
		特別支出計	22,823
		特別収支差額	△ 18,031
		基本金組入前当年度収支差額	
基本金組入額合計		△ 181,761	
当年度収支差額		△ 169,528	
前年度繰越収支差額		△ 1,341,536	
基本金取崩額		0	
翌年度繰越収支差額		△ 1,511,064	
(参考)			
事業活動収入計		1,729,800	
事業活動支出計		1,717,567	

貸借対照表

平成31年3月31日 (単位千円)

科 目	平成30年度末
固定資産	(5,287,922)
有形固定資産	〈 3,880,726 〉
土地	369,348
建物	2,600,407
構築物	190,181
教育研究用機器備品	417,859
管理用機器備品	23,124
図書	278,411
車両	1,396
特定資産	〈 1,406,449 〉
第3号基本金引当特定資産	370,052
退職給与引当特定資産	115,073
減価償却引当特定資産	886,576
住宅貸付引当特定資産	34,748
その他の固定資産	〈 747 〉
電話加入権	647
保証金	100
流動資産	(626,080)
現金預金	528,693
未収入金	95,462
貯蔵品	119
前払金	1,806
資産の部合計	5,914,002
固定負債	(910,613)
長期借入金	613,870
退職給与引当金	296,743
流動負債	(319,502)
短期借入金	13,870
未払金	65,792
前受金	218,033
預り金	21,807
負債の部合計	1,230,115
基本金	(6,194,951)
第1号基本金	5,709,899
第3号基本金	370,052
第4号基本金	115,000
繰越収支差額	(△ 1,511,064)
翌年度繰越収支差額	△ 1,511,064
純資産の部合計	4,683,887
負債及び純資産の部合計	5,914,002

短期大学行事等開催状況(令和元年6月～令和元年11月)

(総務課に届出済(届出分)の一部を掲載しています。:短大事務局)

6月

1日(土) 教育懇談会、後援会総会、Word2016スペシャリスト対策講座
4日(火) 企画戦略チーム会議、給食経営計画実習食事提供
6日(木) 教授会、学内研究会(SD研修会)
8日(土) Word2016スペシャリスト対策講座
9日(日) オープンキャンパス、Word2016スペシャリスト対策講座
11日(火) 給食経営計画実習食事提供、
13日(水) 高校教員対象入学試験説明会(本学)、自己点検・評価委員会、教務委員会、学生募集委員会、学生支援委員会、広報・図書委員会
14日(金) 高校教員対象入学試験説明会(彦根会場)
18日(火) 高校教員対象入学試験説明会(草津会場)、企画戦略チーム会議
19日(水) 体育大会(県立体育館)
20日(木) 教学委員会、人事委員会、企画委員会、附属高等学校実践講座
23日(日) Excel2016スペシャリスト対策講座
24日(月) 学園事務連絡会議
25日(火) SD関連報告会、給食経営計画実習食事提供
26日(水) 滋賀県大学図書館連絡会
27日(木) 科会、附属高等学校実践講座、すみれがーでん
29日(土) SHIGATANミーティング、第3回平野学区連携教育講座

7月

1日(月) 地域移動講座 in 長浜市、附属高等学校保護者学校見学会
2日(火) 企画戦略会議、給食経営計画実習食事提供
4日(木) 教授会、自己点検評価・統括委員会、学内研究会
6日(土) 総合表現Ⅱ授業「発表会」
7日(日) Excel2016スペシャリスト対策講座
9日(火) 企画戦略チーム会議、給食経営計画実習食事提供
10日(水) 教学監査
11日(木) 教務委員会、学生募集委員会、学生支援委員会、広報・図書委員会、I教務オリエンテーション、すみれがーでん
13日(土) 幼稚園実習前期教育実習補講日
14日(日) 家庭的保育推進事業基礎研修、Excel2016スペシャリスト対策講座
15日(月) (祝日)月曜日授業
17日(水) 地域移動講座 in 甲賀市
18日(木) 教学マネジメント委員会、企画委員会、学内研究会、学内研究会(FD研修会)、評議委員会
19日(金) 中間監査、内部監査(高校)、
20日(土) オープンキャンパス
21日(日) オープンキャンパス
23日(火) 補講日、企画調整会議、給食経営計画実習食事提供
25日(木) 補講日、科会、すみれがーでん
26日(金) 常任理事会
27日(土) 図書館連携講座(和邇)
28日(日) 家庭的保育推進事業基礎研修
29日(月) 前期定期試験(8月2日まで)
30日(火) 人事委員会、企画戦略チーム会議

8月

3日(土) 総合選抜I期事前面談
4日(日) 総合選抜I期事前面談
5日(月) 夏季休業(9月26日(木)まで)、留学生交流会
6日(火) 入学試験委員会、幼稚園教育実習連絡協議会、ホームカミングデー(生活)
7日(水) こども講座(陶芸)
8日(木) 教務委員会、こども講座(フラワーアレンジ・書道(硬筆・毛筆))
9日(金) 生涯学習講座(銅版画)
10日(土) 滋賀医科大学との共催公開講座
18日(日) オープンキャンパス
19日(月) オープンキャンパス
20日(火) 中間監査、滋賀県教育委員会大学連続講座、こども講座(陶芸・書道(硬筆・毛筆)、生涯学習講座(お菓子)
21日(水) 滋賀県教育委員会大学連続講座、生涯学習講座(銅版画)、こども講座(ラボラトリードライブポイント)

23日(金) 総合選抜Ⅱ期事前面談日
25日(日) 家庭的保育推進事業基礎研修
27日(火) 入学試験委員会
28日(水) 地域移動講座 in 東近江市、生涯学習講座(お菓子)
29日(木) 学内研究会(SD研修会)
30日(金) 地域移動講座 in 高島市、こども講座(ドライブポイント)、生涯学習講座(銅版画・アイディア料理)

9月

5日(木) 教授会、学内研究会(FD関連)、施設整備委員会、附属高等学校実践講座、すみれがーでん
6日(金) 理事会、生涯学習講座(銅版画)
8日(日) 同窓会総会・懇談会、ホームカミングデー(生活)
10日(火) 保育所実習連絡協議会
12日(木) 臨時教授会、人事委員会、教務委員会、学生募集委員会、学生支援委員会、広報・図書委員会、附属高等学校実践講座
13日(金) 日本医師会認定医療秘書養成に関する運営委員会、施設実習連絡協議会、生涯学習講座(銅版画)
15日(日) オープンキャンパス
19日(木) 企画委員会、教学委員会、SP評価作業、附属高等学校実践講座、地域移動講座 in 大津市、POWER POINT2016対策講座、すみれがーでん
20日(金) 中間監査、POWER POINT2016対策講座
21日(土) POWER POINT2016対策講座
22日(日) 総合選抜Ⅲ期事前面談日
24日(火) 企画調整会議、入学試験委員会、Ⅰ・Ⅱ教務オリエンテーション、前期成績交付、純美禮祭説明会
25日(水) 前期再試験、生涯学習講座(スウェーデンハンドセラピー)
26日(木) 前期再試験、幼稚園教育実習事後指導、附属高等学校実践講座、前期卒業式、科会
27日(金) 後期授業開始

10月

2日(水) 辞令交付式
3日(木) 教授会、Ⅰ回生対象「人権講演会」、附属高等学校実践講座
4日(金) 学園事務連絡会議
10日(木) 教務委員会、学生支援委員会、学生募集委員会、広報・図書委員会、附属高校実践講座、すみれがーでん
13日(日) 総合選抜・学校推薦A(附属)・SI期入試
14日(月) 月曜日授業
16日(水) 給食経営管理実習食事提供
17日(木) 教学マネジメント委員会、企画委員会、防災訓練、附属高校実践講座
22日(火) (祝日)即位礼正殿の儀、火曜日授業、入学試験委員会
24日(木) 臨時教授会、科会、附属高校実践講座、50周年記念事業部会、すみれがーでん
25日(金) 常任理事会
26日(土) 滋賀短期大学公開講座、図書館連携講座(堅田)
27日(日) 学校推薦A・学校推薦B前期入試
29日(火) 入学試験委員会、企画調整会議
30日(水) 給食経営管理実習食事提供
31日(木) 教授会

11月

2日(土) 純美禮祭
3日(日) 純美禮祭、ホームカミングデー(幼教・ビジコミ)
4日(月) (振替休日)月曜日午後授業
6日(水) 給食経営管理実習食事提供
7日(木) 教務委員会、学生募集委員会、学生支援委員会、広報・図書委員会、すみれがーでん
9日(土) ITパスポート試験対策講座
13日(水) 給食経営管理実習食事提供
14日(木) 教学マネジメント委員会、企画委員会
21日(木) 入学試験委員会、SD関連報告会、科会、すみれがーでん
23日(土) 幼児教育アカデミー in SHIGATAN、ITパスポート試験対策講座
27日(水) 給食経営管理実習食事提供

竜王夏まつりへの参加

ビジネスコミュニケーション学科 准教授 江見 和明

8月3日(土)、生活学科とビジネスコミュニケーション学科の学生が、ふるさと竜王夏まつりに参加しました。滋賀短期大学は、竜王道の駅かがみの里様と提携させていただいており、共同で出店させていただきました。2017年に続き今回が二度目の出店です。

今年は、クラブハリエでパティシエとして長年勤務されていた石井明先生監修のもと、生活学科ベーカリー塾の学生が作ったブルーベリーと白桃のブランマンジェを販売しました。商品ラベル、ポスター、チラシの制作は、ビジネスコミュニケーション学科の学生が担当しました。

ブランマンジェは、竜王産のフルーツを使った冷たいデザートで、やさしい甘さが大好評でした。ビジコミの学生が提供した、よく当たるコンピュータ占いとともに、たくさんのお客様に楽しんでいただきました。



来春！滋賀短期大学附属すみれ保育園(仮称)が誕生します！

地域連携教育研究センター
准教授 松村 都子

令和2年4月の滋賀短期大学附属すみれ保育園(仮称)開園に向け、着々と準備を進めています。守山市の文化ゾーン(市民ホールや運動公園)の一角に開設予定で、園周辺には広い遊び場や木立、水辺があり、ホタル観賞もできる等、四季折々の自然に囲まれ豊かな保育展開が期待できそうです。

保育所保育指針の改定を受け、養成学校の知見を活かした「教育に強く養護と一体」となった特色ある保育、子育て世代の拠り所となるあたたかい保育園づくりを目指しています。また、「心技一如」を保育理念とし、心の育ちと実学(体験)の豊さを神髄とした「生活(遊び)から学びへ、学びを生活へ」循環する「子どもの主体性」を尊重した保育を展開し、夢や希望をもって自分の生活を創り出す子どもを育てていきたいと思っています。開園の暁には、ぜひともお立ち寄りください。



鉄骨1階建 建築面積1,400㎡
(令和2年3月完成予定) 定員120名

こどもの国 夏休み☆チャレンジ合宿に参加して

生活学科 特任助手 岡田 香織

8月7(水)・8日(木)に、滋賀県立びわ湖こどもの国が主催するチャレンジ合宿に今年も食健康コースの学生が参加しました。1泊2日の小学生を対象としたもので、学生は主に食事スタッフとして参加し、合宿中の献立を考え調理します。この合宿は名前の通り、様々なことにチャレンジしようというテーマがあり、ピザ釜で焼く手作りピザや、飯盒炊飯など食事作りにも子どもたちがチャレンジできる内容に加え、学生は子ども達の調理サポートもしました。普段使う器具がない、反対に使ったことのない器具、加えて子どものサポートなど、学生にとっては慣れない環境での体験となりますが、子ども達ともすぐに打ち解け、サポート役をしっかりと果たしてくれました。子どもにも学生にも、互いにとって良い「チャレンジ」合宿となったのではないかと思います。



zezeときめき坂ハロウィンに参加して



生活学科 特任助手 服部 聖羅

10月27日(日)膳所駅前広場にて「zezeときめき坂ハロウィン」が今年も開催され、本学からベーカリー塾が参加した。このイベントは、平野学区を中心に、その周辺の自治会や企業、学校などが地域活性化を目的に10年前から開催されている。

今回は、秋を感じさせる芋、紅茶を使ったタルトやシフォンケーキを販売。また、食健康コースにご協力頂き、かぼちゃと麴を使った特製ポタージュを販売した。

イベント当日は、少し肌寒い秋晴れの日で、たくさんの方で賑わった。かぼちゃがほんのり香る中、たくさんの方に、商品を手に取って頂いた。

普段からお世話になっている地域での素晴らしいイベントに毎年呼んで頂き、改めて、地域の方々に支えて頂いていることを感じた。また、学生に貴重な経験を与えて下さっている事に、関係者の方をはじめ地域の皆様に感謝したい。

寄付報告

滋賀短期大学教育研究充実基金に、平成31年4月26日から令和元年11月10日までに6件のご寄付を賜りました。ここに寄付を賜りました方々のご芳名を掲載させていただき、感謝の意を表します。

大同 浩子様、野添 博史様、岡 巧三様、
岸本 大輔様、八木 文子様、村山 晶彦様 (順不同)

人事異動

採用

(10月1日付)
ラーニング・サポートセンター
講師 伊澤 亮介

訃報



純美禮学園理事、滋賀短期大学前学長(平成24年4月1日～平成30年3月31日)、
名誉教授 佐藤尚武先生が、令和元年6月21日にご逝去されました。

謹んでお悔やみ申し上げ、ご冥福をお祈りいたします。

なお、長年のご功績を讃え、正四位 瑞宝中綬章が贈られました。

